

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力

これからの社会で活躍していく子供たちに、
15歳の段階で、身に付けておいてもらいたい「力」を
次のように考えています。

自己を
認識
する力

自分は何が好きなのか、自分
はどういう人間なのか、など
自分自身のことを理解する
ことができる力

自分の人生を
選択
する力

自分の将来の夢や目標、自分
がやりたいことなどについて、
自分で考え、選択し、自分の
意志で決めることができる力

表現
する力

自分自身のこと、自分の考え
や思いを、相手に理解して
もらえるように工夫しながら
伝えることができる力

保護者の皆さんへのお願い

子供たちがこのような力を身に付け、発揮していくためには、学校や家庭が、子供たちにとって「気持ちを受け止めてもらえる」と安心できる環境であることが大切です。

全ての学校で、子供たち一人一人が、自分の考えをしっかりと持ち、大切にし、先生や友達に心を開いて話すことができる雰囲気づくりや環境づくりを進めてまいりますので、御理解・御協力をよろしく申し上げます。

令和5年度入学者選抜から始まる新しい制度のポイントを紹介します

1 中学生がより一層主体的に志望校を選ぶことができる環境を整えます

～全ての高校・学科で教育目標や育てたい生徒像等を明確化～
中学生がより一層主体的に志望校を選ぶことができるように、全ての高等学校・学科で、教育目標（スクールポリシー）や育てたい生徒像、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、入学者選抜の実施内容を事前に公表します。受検生は、進路の希望などに合った高等学校を選ぶことができます。各高等学校・学科の教育目標や、入学者選抜の実施内容などについては、各学校のホームページや広島県教育委員会ホームページで公表する予定です。

各高等学校が作成 入学者選抜実施内容シート

●●高等学校	●●課程	●●学科	[] コース	自分に合った学校を選びやすく
教育目標 (スクールポリシー)	イメージです			
育てたい生徒像 (アドミッション・ポリシー)				
入学受入方針 (アドミッション・ポリシー)				
項目	内容			
区分	一般枠	特色枠 <small>※入学定員の50%以内で実施可能</small>		
学力検査				
実施教科	■国語、社会、数学、理科、外国語の5教科		(学校・学科において設定)	
配点	■教科によって傾斜配点が可能			
調査書				
学年間の比重	■第1学年：第2学年：第3学年 = 1：1：3		同左	
対象教科	■国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の9教科		(学校・学科において設定)	
教科別の配点	■対象教科全て同じ配点			
自己表現	※自己表現カードを活用			
実施内容	(自己表現カードを活用したプレゼンテーション等を実施)		同左	
独自検査	※実施する場合のみ			
実施内容	(独自の学力検査、面接、小論文、作文、実技等を実施)		同左	
学力検査、調査書、自己表現の比重	■学力検査：調査書：自己表現 = 6：2：2 <small>※独自検査を実施する場合は、これに加えて設定する</small>		(学校・学科において設定)	

2 入学者選抜に係る期間を短縮します



～授業時数の確保など教育活動を更に充実～
「選抜(I)・(II)・(III)」を、「一次選抜・二次選抜」とすることで、入学者選抜に係る期間の短縮を図り、中学校及び高等学校において授業や学校行事の時間を増やすなど、教育活動の充実を図ります。

一次選抜(一次募集) 全ての高等学校・学科で実施

学力検査、調査書、自己表現により入学者を選抜します。
※独自検査を追加する高等学校・学科もあります。

学力検査、調査書、自己表現の比重は、
学力検査：調査書：自己表現 = 6：2：2を基本とします。

全ての高等学校・学科が配点等を統一的に設定する「一般枠による選抜」と各高等学校・学科が配点等を設定する「特色枠による選抜」で、合格者を決定します。

二次選抜(二次募集) 一次選抜(一次募集)の合格者が入学定員に満たなかった高等学校・学科で実施

調査書、自己表現により入学者を選抜します。※独自検査を追加する高等学校・学科もあります。

2月

3月

新

一次
選抜

二次
選抜

現行

選抜I

選抜II

選抜III

Q 新しい入学者選抜の日程などは、いつ決まるのですか？

A 新しい入学者選抜の日程は、まだ正式に決定していませんが、一次選抜は2月下旬から3月上旬の間に、二次選抜は3月中旬から下旬の間に実施する予定です。新しい入学者選抜制度の情報は、広島県教育委員会ホームページ等で、随時公表していきます。